

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月3日

評価対象事業		評価者	消防総務課長	高木 守
消防-04	実施事業	消防施設整備事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 消防総務課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民及び消防職員等
意図	消防署所から遠距離にある地域の防火防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。
効果	災害を最小限に抑え、救命率の向上及び、より快適、安全で安心に暮らせるまちづくりを図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・消防団器具置場(第27・28分団)の耐震改修工事設計を委託により行った。 ・腰越出張所改築工事に伴う補償を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	2,474	2,826	当初予算(千円)	147		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	2,474	2,826	一般財源	147		
事業経費運営	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	3,925	4,028	人件費(千円)	4,059		
	総事業費(千円)	6,399	6,854	総事業費(千円)	4,206		
	市民1人当りの経費(円)	36	39	市民1人当りの経費(円)	24		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・公共施設再編計画に基づき、将来を見据え消防庁舎の整備を展開していく必要がある。 ・消防団器具置場の改修・修繕等について優先順位を付け検討を進めていく。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防施設の含めた消防力の充実強化に努め、災害に強い消防を目指し、市民の安心・安全をテーマに質の高いサービスを提供する。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	消防庁舎の維持管理について、状況を見極め、適切な修繕補修を行い諸課題を整理する。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	限られた財源を適正に執行するため、各施設の破損状況等を把握し、優先順位を付け修繕を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	消防団器具置場(第27・28分団)の耐震改修工事設計の結果、2個分団に係る改修工事費が48,202千円と試算されたことを受け、耐震改修以外の可能性も検討することし、平成31年度予算への工事費計上を見送った。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防施設の整備状況					単位	-	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
消防団第27・28分団の耐震補強のため	目標値	-	-	-	耐震診断	耐震設計	改築等検討			
	実績値	-	-	-	診断実施	設計実施				
	達成率	-	-	-	-	-				

指標の内容	消防施設の整備状況					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
消防庁舎の修繕等のため	目標値	-	-	-	-	80.0	85.0			
	実績値	-	-	-	-	80.0				
	達成率	-	-	-	-	100.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	災害発生時の防災拠点となる消防庁舎や消防団器具置場の改修を実施し、市内全域の消防力の充実強化を図るもの。							
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--